

日時:令和7年11月25日(火)
13:00~13:30
場所:本庁舎4階 記者会見室

【井筒屋×北九州商工会議所×北九州市】
「地域商社」構想の実現に向けた基本合意に関する共同会見

次 第

- 1 出席者紹介
- 2 北九州市・武内市長 挨拶
- 3 北九州商工会議所・野畑副会頭 挨拶
- 4 株式会社井筒屋・松本社長 挨拶・説明・試食
- 5 質疑応答
- 6 写真撮影

配布資料

- ・次第
- ・配席表
- ・令和7年11月20日付 北九州市・井筒屋様プレスリリース
- ・井筒屋様配布資料

【お問い合わせ】

産業経済局 地域経済振興部 サービス産業政策課
課長:大庭、係長:長野 電話:093-582-2050



令和7年11月20日
北九州市産業経済局

報道機関各位

井筒屋 × 北九州商工会議所 × 北九州市の最強タッグ！ 「地域商社」構想の実現に向けた基本合意に関する共同会見 ー 地域資源の掘り起こしで「北九州ブランド」を確立ー

このたび、地域経済の発展・地域産業の振興のため、地域製品の磨き上げや販路拡大を図る「地域商社」構想の実現に向け、株式会社井筒屋、北九州商工会議所、北九州市が相互に連携を図ることに合意しました。

この連携により、地域資源を掘り起こし付加価値を一層高めるとともに、新たな目玉となる商品の創出などを通じて、地域経済全体の活性化や「北九州ブランド」の確立など「稼げるまち」の実現につなげてまいります。

つきましては、下記のとおり共同会見を行いますのでお知らせいたします。

詳細は、株式会社井筒屋のプレスリリース資料をご参照ください。

記

- 1 日 時 令和7年11月25日（火）13：00～13：30
- 2 場 所 北九州市役所本庁舎4階 記者会見室
（北九州市小倉北区域内1番1号）
- 3 出席者 株式会社井筒屋 代表取締役社長執行役員 松本 圭
北九州商工会議所 副会頭 野畑 昭彦
北九州市長 武内 和久
- 4 次 第 （1）武内市長 挨拶
（2）北九州商工会議所 野畑副会頭 挨拶
（3）株式会社井筒屋 松本社長 挨拶・説明
（4）質疑応答
（5）記念撮影

【お問い合わせ】

産業経済局 サービス産業政策課

担当：大庭（課長）、長野（係長） TEL：093-582-2050

報道関係各位

株式会社 井 筒 屋
営業企画部 営業企画担当
TEL 093-522-3640

《井筒屋・北九州市・北九州商工会議所》

「地域商社」構想の実現に向けた共同会見

【井筒屋×地元企業コラボ開発】



会 期	／	11 月 25 日（火）	13 時～13 時 30 分	
会 場	／	北九州市役所 本庁舎 4 階	記者会見室	
出席者	／	株式会社井筒屋	代表取締役社長執行役員	松本 圭
		北九州市長		武内 和久
		北九州商工会議所	副会頭	野畑 昭彦

この度、井筒屋と北九州市、北九州商工会議所は、地域経済の発展・地域産業の振興のため、地域産品の磨き上げや販路拡大を図る「地域商社」構想の実現に向け連携することとし、三者での共同会見を行うことになりましたのでご案内いたします。

1. 「地域商社」構想

井筒屋は、2025－2027 年度中期経営計画において「地域唯一の百貨店として、地域経済・社会の発展に貢献する」ことを 2035 年に目指す姿として掲げております。この目指す姿を実現する大きな柱の一つが「地域商社」構想であり、2025 年 3 月には専担組織を新設し、魅力あふれる産品の発掘・改良・新規開発・地域内外への販路拡大に向けて取り組んでおります。

「地域商社」を事業として推進していくことにより、地域の稼ぐ力の拡大に寄与するとともに、当社としては商事部門を通じて卸事業を強化し新たな収益源として企業価値の向上を図ってまいります。

2. 三者連携

（1）連携内容

三者において『「地域商社」構想の実現に向けた連携にかかる基本合意書』を締結します。

（2）三者の役割

北九州市：「地域商社」構想への支援・サポート、関係機関との調整など

北九州商工会議所：地元企業・事業者との橋渡し、地元企業・事業者のニーズ・意見収集、専門家派遣等も含めた伴走支援など

井筒屋：小売・流通・販促などに関する知見提供、バイヤー・ユーザー目線での商品開発支援、販路提供、テストマーケティングの場提供など

◆井筒屋「地域商社」構想第一弾開発商品



『ごとう醤油 調味料各種』
各 130g 各 756 円

『山吹 とまと出汁おでん』
1 袋 1,080 円

『なごし とまとチーズ大福』
1 個 280 円

《井筒屋・北九州市・北九州商工会議所》 「地域商社」構想の実現に向けた共同会見

2035 年（創業 100 周年）に向けて目指す姿 「地域唯一の百貨店として、地域経済・社会の発展に貢献する」こと

弊社は 2025－2027 年度中期経営計画において上記を目指す姿として掲げています。
この目指す姿を実現する為の柱の一つが「地域商社」構想です。

2025 年 3 月には専担組織を新設し魅力あふれる商品の発掘・改良・新規開発・地域内外への販路拡大に向けて取り組んでいます。

また「地域商社」を事業として推進していくことにより地域の稼ぐ力の拡大に寄与するとともに商事部門を通じて卸事業を強化し新たな収益源として企業価値の向上を図ってまいります。

地域になくなくてはならない百貨店として地域から支持される存在となり地域経済・社会の発展に貢献できる姿を目指します。

1. 「地域商社」構想への経緯

近郊自治体を訪問し地域毎の課題を収集していたところ、人口減少・後継者不足に直面している中小事業者様も多く「何をどうやって売るのが」と言ったノウハウが不足している現実に変更が気付かされました。

一方で北九州市は古くから「ものづくりの街」として発展してきた経緯もあり各所に「魅力ある商品」が埋もれています。それらの商品を井筒屋の知見/資源を活用しブラッシュアップする事で持続的な消費拡大に繋がる可能性を感じました。

また事業者様の多くは「BtoB」の取引が中心であり弊社の小売業としての経験をプラスできれば「BtoC」取引も拡大され収益拡大も期待できると考えます。

北九州市様へ事業者様とのマッチングや様々なご支援を相談し好感触を得た事も「地域商社」構想の後押しとなりました。

一例として弊社本館6階で地域産品を扱っている「きたきゅうコロンプス」ショップは2019年のオープン時と比較して前期売上は約3倍、98百万円/年規模まで成長しており地域産品におけるお客様のニーズは非常に高いと感じております。

2. 「地域商社事業の意義・目標」

弊社は地域小売業のリーディングカンパニーとして小売業の立場から地域産品の発掘・開発を通じて地域活性化に貢献したいと考えています。

具体的には①地域に根差した百貨店で衣食住多岐にわたる自主売場を持つこと、②各部門に専従のバイヤーがいること、③卸事業会社をグループ内に持つこと等①～③の弊社の強みを発揮し地域事業者様と連携し商品開発を行い地域の稼ぐ力を引き上げたいと考えます。

また、地域商社事業は現状の「井筒屋グループのビジネスモデル(仕入+販売)」に新たな業容拡大の機会をもたらします。

近郊自治体の地域商社モデルを参考に地域内外への卸を含めた販路拡大を行い新たな収益源としてまいります。

さらに、弊社人材育成面でも商品開発を進める過程でバイヤーや事業担当の研鑽を期待しています。